

2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL <https://www.jsr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼社長 (氏名) エリック ジョンソン
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 武田 佳子 TEL 03-6218-3517
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期 第1四半期	85,046	△8.8	△5,314	-	△6,144	-	△2,428	-	△2,582	-	13,266	△39.9
2023年3月期 第1四半期	93,298	13.3	6,247	△50.2	7,267	△34.8	5,503	△36.3	5,742	△29.7	22,067	106.4

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2024年3月期 第1四半期	△12.44		△12.44	
2023年3月期 第1四半期	27.09		27.06	

（参考）税引前四半期利益 2024年3月期第1四半期 △4,186百万円（-%） 2023年3月期第1四半期 9,631百万円（△12.9%）

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率		1株当たり親会社所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期 第1四半期	743,624		386,922		361,215		48.6		1,740.08	
2023年3月期	715,959		380,935		355,526		49.7		1,712.67	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2023年3月期	-	35.00	-	35.00	70.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2023年6月26日に公表いたしました「2024年3月期配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」に記載のとおり、2023年4月27日に公表いたしました2024年3月期の配当予想を修正し、2023年9月30日（第2四半期末）を基準日とする剰余金の配当及び2024年3月31日（期末）を基準日とする剰余金の配当を行わないことを決議しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	442,000	8.1	42,000	23.4	42,000	43.0	27,000	64.4	25,000	58.4	120.43	

（参考）税引前利益 通期 37,000百万円

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	208,400,000株	2023年3月期	208,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	814,500株	2023年3月期	814,227株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	207,585,698株	2023年3月期1Q	211,942,761株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2023年8月7日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日から同年6月30日）の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの主要な需要業界の動向は、半導体市場はスマートフォンやパソコン等の需要減退やデータセンター投資の減速等もあり半導体メーカーでの生産調整が継続しており需要が減少しました。フラットパネルディスプレイ市場はパネルメーカーでの在庫水準適正化に伴い生産は緩やかに回復傾向にあります。最終製品の需要は引き続き低調に推移しました。バイオ医薬品市場は引き続き高い成長となりましたが、バイオテック市場では一部減速が見られました。自動車市場は、半導体不足の解消も進み回復傾向にあります。

当社グループはこのような環境の中、デジタルソリューション事業では、半導体材料事業において最先端技術に対応した製品の拡販を、ディスプレイ材料事業では引き続き成長が期待される中国市場において競争力のある製品を中心に拡販を進めました。ライフサイエンス事業では、バイオ医薬品の開発・製造受託（CDMO事業）、医薬品の開発受託（CRO事業）を中心に拡大に努め、合成樹脂事業では、引き続き戦略製品の拡販に注力しました。しかし、全般的な需要業界の低調な動向に当社業績も大きく影響を受けました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益は850億46百万円（前年同期比8.8%減）、コア営業利益は前年同期の利益62億47百万円から損失53億14百万円となりました。

（単位：百万円）

区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
デジタルソリューション事業	42,920	46.0%	37,725	44.4%	△5,194	△12.1%
ライフサイエンス事業	22,747	24.4%	21,215	24.9%	△1,532	△6.7%
合成樹脂事業	22,777	24.4%	22,717	26.7%	△60	△0.3%
その他事業	4,854	5.2%	3,388	4.0%	△1,466	△30.2%
調整額	—	—%	—	—%	—	—%
合計	93,298	100.0%	85,046	100.0%	△8,252	△8.8%
国内売上収益	28,932	31.0%	30,771	36.2%	1,838	6.4%
海外売上収益	64,365	69.0%	54,275	63.8%	△10,090	△15.7%

（単位：百万円）

区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上 収益比	金額	売上 収益比	金額	比率
コア営業利益（△損失）	6,247	6.7%	△5,314	△6.2%	△11,561	—%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（△損失）	5,742	6.2%	△2,582	△3.0%	△8,323	—%

① デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、主要顧客である半導体メーカーでの生産調整による需要減を中心として売上収益は前年同期を下回りました。

コア営業利益は、売上収益の減少の影響で前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比12.1%減の377億25百万円、コア営業利益は前年同期比65.7%減の26億23百万円となりました。

② ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、CDMO事業で当社グループのKBI Biopharma, Inc.での新工場の稼働により売上が拡大しましたが、診断薬事業で株式会社医学生物学研究所(MBL)での新型コロナウイルス抗原検査キットの販売減やCRO事業でのバイオテック向けの需要の減速もあり売上収益は前年同期を下回りました。

コア営業利益は、CDMO事業でKBI Biopharma, Inc.の一部主力工場での大規模修繕実施や在庫に係わる一時費用の計上、CRO事業での売上減少に伴う利益の減少もあり、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比6.7%減の212億15百万円、コア営業利益は前年同期の利益32百万円から損失68億57百万円となりました。

③ 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、主な対面市場である自動車市場は回復傾向にあるものの、需要は弱く売上収益は前年同期をやや下回りました。

コア営業利益は、原料価格の上昇に伴う値上げの浸透により売買スプレッドが改善し、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比0.3%減の227億17百万円、コア営業利益は前年同期の損失4億79百万円から損失1億72百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、市場環境及び業績の動向等を踏まえ、2023年4月27日の「2023年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、2023年6月26日付で公表した「JICC-02株式会社によるJSR株式会社(証券コード:4185)に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」及び2023年6月28日付で公表した「(訂正)「JICC-02株式会社によるJSR株式会社(証券コード:4185)に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」の一部訂正について」において記載のとおり、JICC-02株式会社による当社の普通株式、新株予約権及び米国預託株式に対する公開買付け及びその後の一連の手続により、当社株式が上場廃止となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	72,640	81,310
営業債権及びその他の債権	78,825	77,718
棚卸資産	118,437	119,705
その他の金融資産	2,657	1,636
その他の流動資産	26,716	21,990
流動資産合計	299,275	302,358
非流動資産		
有形固定資産	169,621	174,639
のれん	147,874	160,082
その他の無形資産	34,202	36,036
持分法で会計処理されている投資	2,479	2,474
退職給付に係る資産	5,674	5,680
その他の金融資産	33,157	36,500
その他の非流動資産	3,438	3,784
繰延税金資産	20,240	22,069
非流動資産合計	416,684	441,266
資産合計	715,959	743,624

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	79,627	72,557
契約負債	22,407	21,989
社債及び借入金	62,510	93,207
未払法人所得税	3,046	1,296
引当金	1,474	1,479
その他の金融負債	3,243	4,411
その他の流動負債	9,454	5,847
流動負債合計	181,761	200,787
非流動負債		
契約負債	5,062	4,214
社債及び借入金	95,683	95,133
退職給付に係る負債	10,485	10,070
引当金	7,423	7,423
その他の金融負債	23,514	29,413
その他の非流動負債	4,373	2,562
繰延税金負債	6,724	7,100
非流動負債合計	153,263	155,915
負債合計	335,024	356,702
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	6,637	6,673
利益剰余金	288,919	279,394
自己株式	△2,109	△2,110
その他の資本の構成要素	38,709	53,887
親会社の所有者に帰属する持分合計	355,526	361,215
非支配持分	25,409	25,707
資本合計	380,935	386,922
負債及び資本合計	715,959	743,624

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	93,298	85,046
売上原価	△61,589	△60,692
売上総利益	31,708	24,354
販売費及び一般管理費	△25,422	△29,694
その他の営業収益	1,534	464
その他の営業費用	△544	△1,269
持分法による投資損益	△9	△0
営業利益(△損失)	7,267	△6,144
金融収益	3,101	3,611
金融費用	△737	△1,653
税引前四半期利益(△損失)	9,631	△4,186
法人所得税	△4,128	1,758
四半期利益(△損失)	5,503	△2,428
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	5,742	△2,582
非支配持分	△239	153
合計	5,503	△2,428
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益 (△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	27.09	△12.44
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失) (円)	27.06	△12.44

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益(△損失)	5,503	△2,428
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	△328	1,941
確定給付負債(資産)の再測定額	△1	346
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	5	—
在外営業活動体の換算差額	16,430	13,389
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	459	18
税引後その他の包括利益合計	16,564	15,694
四半期包括利益合計	22,067	13,266
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	21,963	12,797
非支配持分	104	468
合計	22,067	13,266

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2022年4月1日残高	23,370	11,799	333,335	△18,874	26,381	376,011	38,728	414,739
四半期利益			5,742			5,742	△239	5,503
その他の包括利益					16,221	16,221	343	16,564
四半期包括利益合計	—	—	5,742	—	16,221	21,963	104	22,067
株式報酬取引		185			114	299		299
配当金			△7,528			△7,528	△513	△8,041
自己株式の変動		△135		△29,998		△30,133		△30,133
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△248		248	—		—
子会社株式の売却による変動						—	△13,512	△13,512
所有者との取引額等合計	—	50	△7,775	△29,998	362	△37,362	△14,025	△51,387
2022年6月30日残高	23,370	11,849	331,302	△48,872	42,964	360,613	24,807	385,420

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2023年4月1日残高	23,370	6,637	288,919	△2,109	38,709	355,526	25,409	380,935
四半期利益(△損失)			△2,582			△2,582	153	△2,428
その他の包括利益					15,379	15,379	315	15,694
四半期包括利益合計	—	—	△2,582	—	15,379	12,797	468	13,266
株式報酬取引		36			115	150		150
配当金			△7,266			△7,266	△170	△7,435
自己株式の変動				△1		△1		△1
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			315		△315	—		—
その他の増減額			7			7		7
所有者との取引額等合計	—	36	△6,943	△1	△200	△7,109	△170	△7,279
2023年6月30日残高	23,370	6,673	279,394	△2,110	53,887	361,215	25,707	386,922

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業が中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、バイオプロセス材料や診断薬、創薬支援サービスを提供しております「ライフサイエンス事業」及び自動車やOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
デジタルソリューション事業	<半導体材料事業> リソグラフィ材料（フォトレジスト、多層材料）、実装材料、洗浄剤、CMP材料、等 <ディスプレイ材料事業> カラー液晶ディスプレイ材料、有機ELディスプレイ材料、等 <エッジコンピューティング事業> 耐熱透明樹脂および機能性フィルム、光造形、等
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬および同材料、バイオプロセス材料、創薬支援サービス、等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂等の合成樹脂

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタル ソリューション	ライフサイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの 売上収益	42,920	22,747	22,777	4,854	93,298	—	93,298
セグメント損益 (コア営業利益) (注) 3	7,651	32	△479	91	7,294	△1,047	6,247

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、接着剤等の製造・販売の事業等を含んでおります。
2. セグメント損益の調整額△1,047百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。
3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタル ソリューション	ライフサイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの 売上収益	37,725	21,215	22,717	3,388	85,046	—	85,046
セグメント損益 (コア営業利益) (注) 3	2,623	△6,857	△172	△7	△4,414	△900	△5,314

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、接着剤等の製造・販売の事業等を含んでおります。
2. セグメント損益の調整額△900百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。
3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

セグメント損益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
セグメント損益	6,247	△5,314
事業構造改革費用	—	△830
子会社株式売却益	1,020	—
営業利益 (△損失)	7,267	△6,144
金融収益	3,101	3,611
金融費用	△737	△1,653
税引前四半期利益 (△損失)	9,631	△4,186